



対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」(米国)



TOFUプログラム 標準日程案

日時	プログラム	ねらい
事前説明会 渡航1か月前を目安に実施		
1日目	午前 成田/羽田空港 集合 【表敬訪問】外務省、駐日米国大使館 オリエンテーション、渡航説明・健康状態確認	事業主旨・目的等を理解し、プログラム参加者としての自覚を促し、意欲を高める。また米国での安全管理・健康管理について確認する。
	午後	【成田空港発 → 米国着】
2日目	午前 【表敬訪問】日本国大使館	米国の政治・経済・外交・歴史・文化等を知り、米国理解の一助とする。米国における日本の位置づけや評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。
	午後 【表敬訪問】米国政府機関	
3日目	午前 【意見交換】米国政府関係者、シンクタンク関係者等	東アジアの安全保障環境、あるべき日米安全保障体制の姿、米軍と社会との関係等について意見交換を行う。
	午後 【歴史的・文化的施設訪問】	米国の代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本と米国との歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本と米国との関係を考察する一助とする。
4日目	午前 【歴史的・文化的施設訪問】	米国の代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本と米国との歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本と米国との関係を考察する一助とする。
	午後 【現地学生等との交流】	米国の同世代の青少年に対し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策などについて発表を行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。 (空路により米国内移動)
5日目	午前 【表敬訪問】総領事館	米国または国際社会における日本の役割や評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。
	午後 【国際機関訪問】 【ワークショップ】	
6日目	午前 報告会準備 【報告会/昼食歓送会】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案(学んだ事をどう活かすか、継続的な日本に関する情報の発信方法等)について、米国関係者に報告する内容をまとめる。
	午後 【現地学生等との交流】	米国の同世代の青少年に対し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策などについて発表を行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。
7日目	午前 帰国準備	【米国発 → 成田空港着(翌日到着)】
8日目	午後	帰国 解散